



きょうだいの本

4月10日は、きょうだいの日。きょうだいや、きょうだいのように大切な存在を称える日だそうです。今月は、いろいろなかたちのきょうだいの本を集めました。

『てんてんきょうだい』 絵本 811 タ
山田慶太 文 田口麻由 絵



『カモのきょうだい クリとゴマ』
なかがわちひろ 作・絵 児童 488 ナ



『ママ、どっちがすき?』
絵本 913 ナ
織田りねん 作 中田いくみ 絵



『みけねえちゃんに いうてみな』
村上しいこ 作 児童 913 ム
くまくら珠美 絵



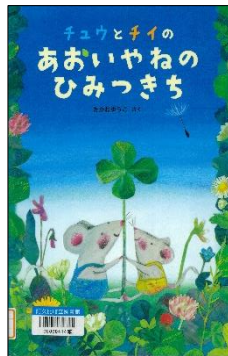
『ねえさんといもうと』
シャーロット・ゾロウ 文 絵本 933 サ
酒井駒子 絵・訳



『若草物語』 児童 933 オ
ルイザ・メイ・オルコット 原作
小松原宏子 編訳 あさま基恵 絵



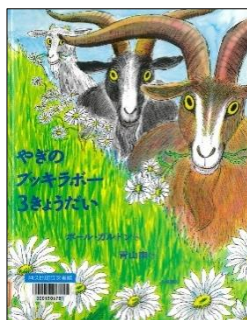
『チュウとチイの あおいやねの ひみつきち』
たかおゆうこ 作 絵本 913 タ
のねずみのきょうだい チュウとチイは、はじめて ふたりだけで やまにすむおばあちゃんのいえに とまりにきました。ふたりが ひみつきちをつくらうとして、いと、「あーそーぼ!」と、おおきなこえがしました。



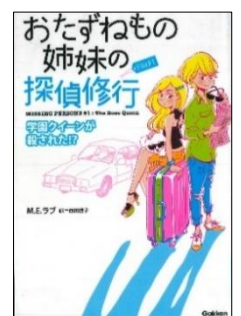
『朔と新』 児童 913 イ
いとうみく 著
高速バスの事故に巻き込まれて視力を失った兄・朔と、そのバスに乗る原因をつくった弟・新。自分も大切なものを失わなければいけないと考えた新は、大好きだった走ることをやめた。そのことを知った朔は…。



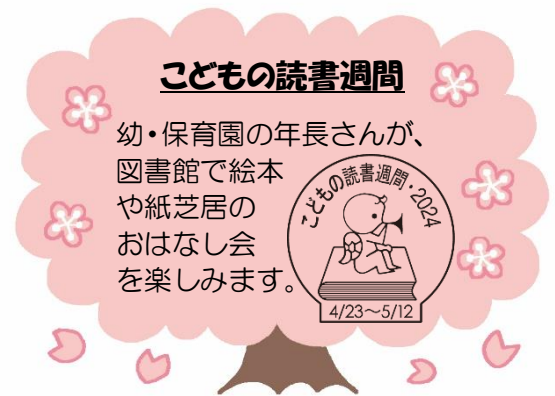
『やぎのブッキラボー 3きょうだい』 絵本 933 カ
ポール・ガルドン 作 青山南 訳
むかし、「ブッキラボー」という 3びきのやぎの きょうだいが いました。やぎたちは、かわのむこうの おかで、くさをたくさんたべたいけれど、はしの したにはおそろしい トロルが すんでいます。



『おたずねもの姉妹の探偵修行 File #1』 児童 933 ラ
M.E.ラブ 著 西田佳子 訳
わけあって、NY から逃走してきたサムとソフィー。素性をかくすために名前を変え、髪もブロンドに染めて、小さな田舎町にころがりこんだけれど、誘拐事件に巻き込まれてしまい…。



展示ホール
図書館展
3/29(金)~4/14(日)
阿久比写友会写真展
4/18(木)~4/28(日)





あたらしい本



『はみがきれいっしょと しゅっしゅっぽー』 絵本 S497ク

くぼまちこ 著

ぼくは はぶらし。はみがきれいっしょ。
ほっぺの あかりを ぱちっと つけて、
おくちの なかを しゅっ しゅっ しゅっ。
まえのは えきの にんじんを しゅっと
とったら、つぎは おくのは えきに。



『本のPOPをつくろう！』 児童 019リ

「本のPOP や帯を作ろう」編集室 編
「POP」とは、お店などで商品と一緒に
置いてあるカードのこと。本のPOPは、
本の魅力を伝え、手に取るきっかけと
なる重要なものです。POP を作って、
誰かに本をおすすめしてみませんか？



『そんなわけで国旗つくっちゃいました！えほん』

吹浦忠正 監修 絵本 288 ナ

なかさこかずひこ！ 作・絵

たいうに かんしゃして つくったはた。
こつきを がつたいさせて つくったはた。
さまざまな くにのはたが できたわけを
たのしいイラストで しょうかします。



『選挙、誰に入れる？』 児童 310ウ

宇野重規 監修

日本では選挙で、自分の考えと
近い候補者や政党に投票することが
できます。暮らしや働き方、環境問題
などの世界と日本の現状を知り、何が
問題であり、何が必要か考えてみよう。



『うまれたよ！ヤモリ』 絵本 487セ

関慎太郎 写真・文

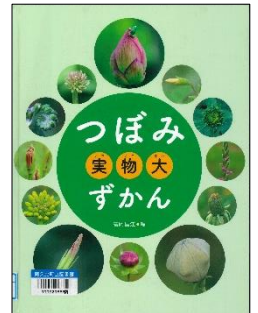
にんじやのように かべをあるいたり、
からだのいろを かえたりするヤモリ。
おかあさんヤモリは、くらく ひとめの
つかないばしょに、いちどに2この
たまごをうみます。2かげつたつと…。



『つぼみ実物大ずかん』 児童 470タ

高岡昌江 編

セイヨウタンポポやアサガオ、ヒガンバナ
など、春夏秋冬18種の花とそのつぼみ
を、ほんとうの大きさの写真で紹介。
カリフラワーなど、4種の食べられる
つぼみものっています。



『わすれていいから』 絵本 913オ

大森裕子 著

うまれたときから、いっしょの「おまえ」。
おれは どんどん おおきくなって、
おまえは ゆっくり おおきくなった。
でも、おまえは だんだん いないことが
おおくなったよな…。
あるしょうねんと ねこのものがたり。



『はじめて読む がいこくの物語 1年生』 児童 908ヨ

横山洋子 監修

中国の物語「そんごく」、アメリカの
物語「オズのまほうつかい」、スイスの
物語「アルプスの少女ハイジ」など、
時代や国をこえて、長い間人びとに
読みつがれてきた外国の物語6話を、
小学1年生向けにやさしく翻訳。



『ひとりぼっちの オオカミ』 絵本 933サ

ケイティ・スリヴェンスキー 文

ハンナ・サリーヤ 絵 大竹英洋 訳

森でうまれたいっぴきのオオカミの
子は、ほかのきょうだいとちがって、
しずかで、おだやかで、あまえん
ぼう。その子は、「ほんものの
オオカミみたいだったらよかった
のに」と、まいばん思っていました。



『さよならミイラ男』 児童 913フ

福田隆浩 著

荒廃した家庭に暮らす、6年生のアクト。
勉強についていけず、いじめも受ける。
家にも学校にも居場所がない彼は、
給食まで時間をつぶそうと、使われて
いない教材室に入った。そこで、なぞの
ミイラ男と出会い、次第にミイラ男は
アクトの心の支えになっていく。

